

のうきょう だより

令和7年(2025年)

No. 347

総会号

美しい田園都市、
新しい「農」の力。

 新庄市 新庄市沖の町5番55号
TEL.0233-22-3966 FAX.0233-22-3503

URL:<https://jasinjyosi.jp/>



目次

- 2p~7p
第53回 通常総会
- 8p~9p
管内ニューストピックス
- 10p~11p
お知らせとご報告
- 12p 特集
新庄市の農業を担う
農業人、JA職員



紫陽花の花

全7議案を慎重審議、承認される



第53回 通常総会開催

第五十三回通常総会が6月21日、新庄市民文化会館大ホールにて開催され、組合員869人（実出席119人、委任状出席69人、議決権行使681人）の出席の下、令和6年度事業報告と剰余金処分案、令和7年度事業計画、役員選任に関する案件など7つの議案が審議されました。

総会に先立ち、永年に亘り支部長として尽力された佐藤一郎氏（中山支部 勤続13年）、故伊藤明氏（五日町支部 勤続46年）、2名が永年勤続表彰を受賞されました。開催にあたり、沼澤正和経営管



理委員会会長が、ご出席いただいた組合員、ご臨席いただいた来賓の皆さまに対し謝辞を述べ、「令和6年は、経済活動が本格的に回復し、インバウンド需要拡大によって、一部地域では来場規制が実施されるなど、人の移動が活発になったと実感いたしました。また、これが農産物価格への良い影響を及ぼすことを期待しております。一方で、昨年7月下旬の豪雨災害は当JA管内でも広範囲におよび、土砂崩れや水田への土砂流入など、甚大な被害となりました。被災された組合員の方にはお見舞いを申し上げますとともに、早急な復旧と、災害対応をJAグループが一体となって行政に働きかけるところでございます。また、令和6年は近年に類を見ないほどコメ価格が高騰いたしました。食料・農業・農村基本法施行と重なり思い



がけず生産費を転嫁した、再生産可能な適正な農産物価格が実現したのではないかと思います。生産者米価の上昇は、私たち生産者にとっては喜ばしいことではありませんが、消費者米価は前年の倍以上の値上がりになっております。消費者米価が過度に値上がりするのは、米離れを加速させるのではないかと心配されるところであります。また、一部の報道や発言には、消費者米価の高騰はJAや全農が関わっているかのようないくつかの誤った内容もございましたが、最近では、ようやく論調が変わってきたようです。私たちも正確な情報で、正しい報道がされるよう

ております。本総会から理事会制度へ移行し、併せて会計監査人を設置し、より厳格な体制でコンプライアンスの遵守と経営リスクを排除する体制を整えて参りますので、農家経営を継続支援するJAの役割を果たすために、経営基盤の強化に努めて参ります。最後に、本日上程する議案は、組合員の協力なくしてはなし得ないものであります。令和7年度の事業が計画通り達成できますよう皆さまの一層のご理解とご協力をお願いします。」との挨拶をした。



備金に1200万円を充て、1億4534万円を次期に繰り越しました。令和6年産米の価格高騰は備蓄米が放出されてからも続き、高騰の原因や備蓄米の効果疑問視される中、生産と消費の米価格安定につながる体制が必要となっております。米を主体とする地域のJAとして、米を作る生産基盤を維持し、できる限り米を作ることを目標に事業を進め、「組合員の所得増大」と「農業生産の拡大」、「地域の活性化」に貢献し、農業と地域の農家が抱える課題に対してJAが担う役割を果たして、組合員の営農継続を支援するため、令和7年度事業を展開します。



注目し、誤った内容は、訂正を求めたいことが必要だと感じております。令和6年度事業は、おかげ様をもちまして黒字決算を結ぶことができました。まずをもってお礼申し上げます。遊休資産の処分が進んだ結果が大きく影響し

議事に際し、議長に角沢支部の高山宗悦氏が選任され、各議案が審議されました。令和6年度決算は、組合員の理解と協力による農畜産物の生産と出荷が実を結び、信用、共済事業などを含む事業総利益は4019万円で、経常利益は4327万円、当期剰余金は4826万円を計上し、当期未処分剰余金は1億5734万円、利益準



佐藤一郎氏（中山支部）

第53回総会 事前質問回答

●第1号議案について

①他より肥料農薬が高い気がしますが、どうですか。
(野中支部 伊藤潤氏)

肥料農薬の価格について

(柿崎理事長)

他より肥料農薬が高い気がしますが、すとのご意見ですが、確かに肥料農薬の価格は非常に高くなっており、2・3年前と比べると高く感じられています。ただ、



他の店と比べてそれほど高い物はないように感じています。年内に市況対策もおこなっておりますので、もし、高い肥料がありましたら、担当に教えていただければ価格差については、年末に皆さまにお返しするよう形にしておりますので、ぜひそういった情報を寄せていただきたいと思います。

②フレックコロンがみ中央農協と比較して100円程高い。どう思っているのか。
(野中支部 今田義徳氏)

フレックコロンの価格について

(柿崎理事長)

フレックコロンは肥育用の餌でもがみ中央農協では肥育農家も多い為、大きく取引されていますが当農協では繁殖農家が多く、繁殖に使われる飼料については遜色なく提供できておりますが、肥育用に使われる方が限られている為、特別注文のような形になっているので高くなってしまっていると思えますが、なお調査させまして、できるだけ安く提供して参りたいと考えております。

●その他

③農協本所のATMが、せめて土曜日の午前中だけでも開いているとありがたい。
(中山支部 佐藤富雄氏)

職員の日もあると思うが、

(中山支部 佐藤富雄氏)

ATMの土曜日稼働について

(柿崎理事長)

コンビニのATMがかなり普及して、皆さんかなり利用されているのではないかと思います。稼働時間も長いのでぜひ、そちらを利用していただきたいと思えます。土曜日の午前中に開けるとなると、職員が出動しなければならぬ、あるいは警備保障に委託しなければならず、コストが高くなると思います。また、当農協の組合員の方より郡内の農協の方の利用が多いATMとなっておりますので、農協としては今のところ考えておりませんのでご理解をお願いしたいと思います。

ぜひ、コンビニATMをご利用いただければと思います。

④今回で退職される役職員の皆さま、長い間お疲れ様でした。今後のご活躍をご祈念申し上げます。

す。(福田1支部 庄司善助氏)

(井上専務理事)

労いのお言葉、まことにありがとうございます。

⑤啓翁桜の栽培を始めましたが、今、新庄市農協では誰も出荷している方がいない状況です。今後数年のうちに出荷させていただきたく、また出荷体制の整備や、一緒に啓翁桜を栽培する仲間づくりにご協力お願いします。
(野中支部 今田奈穂氏)

啓翁桜の出荷等について

(井上専務理事)

担当部署を中心に、広報誌なども活用して取り組んで参りたいと思えます。

第53回通常総会 出席状況

正組合員	1265人
出席人数	869人
実出席	119人
代理人出席	69人
議決権行使書	681人

第53回通常総会 正誤表

第53回通常総会におきまして、下記のとおり記載誤りがありました。お詫びもうしあげますとともに、次の通り訂正させていただきます。

◎太字部分を訂正いたします。

① P35 (1) 組合員資本

(単位：千円)

種 類	当期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
出資金	440,640	6,414	13,239	433,815
利益剰余金	291,995	45,051	10,000	327,047
利益準備金	159,707	10,000	—	169,707
その他利益剰余金	132,288	35,051	10,000	157,340
当期末処分剰余金	132,288	35,051	10,000	157,340
処分未済持分	△13,869	△5,820	△6,942	△12,747
合 計	718,766	45,645	16,297	748,115

② P48 二 農機自動車センター事業

(単位：千円)

種 類	当期末繰越高 (A)	当期末受入高 (B)		当期末繰卸高 (C)	当 期 供給原価 (D=A+B-C)	当 期 供給高 (E)	当期粗収益 (F=E-D)
		うち	系統利用高				
農機具	3,802	97,650	78,420	7,282	94,170	108,893	14,723
農機具	2,064	67,032	52,680	5,647	63,448	70,738	7,289
農機具部品	1,738	30,617	25,739	1,634	30,721	38,155	7,434
自動車	591	15,033	—	52	15,572	16,703	1,130
自動車	450	11,125	—	—	11,575	12,135	559
自動車部品	141	3,907	—	52	3,996	4,567	570
合 計	4,394	112,683	78,420	7,335	109,742	125,596	15,854

③ P53 営業外収益 誤…430→正…260

④ P76 監事候補者 今田 浩徳氏 所信の冒頭「会員はもとより」→「組合員はもとより」

⑤ P77 ② 1行目、3行目

誤	正
退任監事	退任理事

新役員紹介

理事会

沼澤 正和 (代表理事組合長)

井上 達也 (代表理事専務)

武田 広美

中鉢 早苗

森 良一

伊藤 和彦

矢口 淳彦

星 川 秀男

高橋 浩学

松田 浩一

佐藤 尚徳 (理事信用共済部長)

齊藤 孝幸 (理事企画管理部長)

監事

今田 浩徳

大泉 泰徳

高橋 篤浩

須貝 浩浩

お疲れさまでした

本総会をもって退任された役員は以下の通りです。

農協運営に対するご尽力に感謝申し上げます。

■ 今田 供明 さん (野中支部) 前 経営管理委員副会長

■ 榎 渡 澄雄 さん (本合海3支部) 前 経営管理委員 (令和3年6月～令和7年6月)

■ 柿崎 広昭 さん (清水支部) 前 代表理事専務 (平成27年6月～令和7年6月)

平成18年6月～令和5年10月 (経営管理委員)

令和5年10月～令和7年6月 (経営管理委員副会長)

■ 森 利夫 さん (宮内支部) 前 経営管理委員 (平成18年6月～令和7年6月)

■ 浅沼 玲子 さん 前 経営管理委員 (平成27年6月～令和7年6月)

■ 高山 和家 さん (角沢2支部) 前 経営管理委員 (平成30年6月～令和3年6月) (監事)

令和3年6月～令和7年6月 (経営管理委員)

令和3年6月～令和7年6月 (経営管理委員)

■ 榎 渡 澄雄 さん (本合海3支部) 前 経営管理委員 (令和3年6月～令和7年6月)

■ 柿崎 広昭 さん (清水支部) 前 代表理事専務 (平成27年6月～令和7年6月)

平成27年6月～令和7年6月



質疑応答

下西山支部

佐藤 多美子氏

のうきようだよ

りのお知らせにあった、令和6年産主食用米の最終精算見込の金額は確定なのか。確定であれば金額と支払日を教えてください。また、他県の令和7年の概算金額が24,000円や28,000円と聞いたが、新庄市農協としては、どのくらいの金額と考えているか、稲作農家が喜ぶ金額をお願いしたいと問うた。



代表理事理事長

柿崎 広昭

最終精算については、総会資料にもあるように、はえぬき1等米・1俵で24,000円を見込んでおり、現在も販売業者と毎月状況を見ながら1000円でも高く皆さんにお渡しできるように価格交渉中であります。最終精算の精算時期については、8月頃にお知らせし、9月初めには精算できるようにスピード感を持って実行していきたいと思っております。令和7年度の概算金額については、全農山形県本部で例年より早い、8月頃に決定する段取りで進んでおり、農協としても情報を得て売先とも交渉しながら概算金を決めていきたいと思っておりますとの回答を示した。

下西山支部

佐藤 多美子氏

20,000円という数字しか言わなかったのは期待外れだったと述べた。

代表理事理事長

柿崎 広昭

23,000円位にはなると思いますが、今の段階で確実に言えるのは20,000円は間違いはないという事。全農山形県本部がどの位の概算金を提示するのかあまり高く提示すると消費者の反感を買う形になるかと思っておりますので、全国の状況を見ながら概算金を決めていくのではないかと思います。精算金は間違いなく高くなると思いますが、概算金はその位で推移するのではないかと見通しとの回答を示した。

上飛田支部

佐藤 昇氏

総会資料P・57、営農販売の事業計画の中に、『フレコン出荷拡大やパレット集荷での運搬の効率化に取り組みます』とあるが、複数の組合員からフレコンに関しては色選通し必須と数年前から言われており、色選機等機械への4〜500万円の費用や作業所の動力変更など設備投資が必要になる。農協に1俵でも多く出荷をしたいと思っているが、他に出荷するしかなくないと意見を述べた。また、新庄青果が子会社なのを初めて知った。新庄青果でも米を集荷しているが、新庄青果に出荷した場合、農協への出荷にカウントになるのか。また、10年前に就農した際、農作業受託組合があると聞いたが存在するのかと問うた。



代表理事理事長

柿崎 広昭

フレコン出荷の色選については、必須ではないはずです。色選・フレコン施設を補助事業で入れたときに、組合員の方の中で申し合わせで色選を設置しようと思われたのだと思います。色選を通らないものはフレコンに入れてはダメだという強い縛りはありません。

代表理事理事長

柿崎 広昭

ん。できれば通していただいた方が良いですが、お金のかかる問題でありますので、フレコン施設があれば今まで通り農協に出荷をお願いしたいとの回答を示した。また、新庄青果については、農協とは全く別会社になり、米も独自で集荷しているため、新庄青果に販売した分は農協のカウントにはなりません。ただ、新庄青果と集荷を農協でして、農協の倉庫から使う分を持つていっていただけないか話し合いの最中ですのでそのように進められたらいいと思っておりますとの回答を示した。受託組合については、稼働している部分もありますが、大きく広がっていないのが事実です。直播やヘリ防除の受託など普及しているものもありますが、稲の刈り取り等の受託に関してはそれほど広がっていないので、もう一度受託組合について整理して、できるだけ多くの方に利用していただき、農機具も非常に高くなっているため、共同利用や受委託によってコストを下げられるよう農協としてやっていかなければならないと思っておりますので、よろしくお願ひしますとの回答を示した。

上飛田支部

佐藤 昇氏

以前、職員と話した時に紙袋で出した場合とフレコンで出した場合とで検査の仕方が違うと聞いたが、実際検査の仕方は違うのか。また、総会資料P・23、大地ライフサポートが新庄青果と同じ子会社となっている。大地ライフサポートで軽油等購入した場合は農協の明細で送られてくるが、新庄青果と取引した場合は関連会社となっているが、取引の明細は全く別と考えてよいのかと問うた。



フレコンと紙袋の検査の違いですが、やり方は違いますが見方は同じですので、フレコンだから品質が下がる、紙袋だから品質が上がるといえるものではありません。品質のよい米であれば、どちらもほぼ1等米が入っているはずですし、山形県の米、特に当農協の組合員の方の米は非常に品質が良いと評判ですので、今まで通り出荷していただければと思っておりますとの回答を示した。また、新庄青果と大地ライフサポートですが、出資割合が違っており、新庄青果の子会社の位置づけは、前は農協の役員が代表をしていたり、出資金が多いのでこういった位置づけになっていきますが、全くの別会社となっております。大地ライフサポートに関しては、ほぼ100%農協出資の子会社であり、会長も代表を兼務しております。特に員外利用制限のあるものに関して、スタンドや不特定多数の方がたくさん利用される場所は、農協から分離して子会社化しておりますので、そのように区別していただきたいと思いますとの回答を示した。

小学校へ食農教材本を贈呈

JA新庄市とJAおいしいもがみは4月17日、新庄市教育委員会(津田浩教育長)を訪れ、市内小学校5年生を対象に、補助教材「農業とわたしたちの暮らし」を贈呈しました。

この活動は、JAバンク食農教育応援事業として、地域の小学生に対する農業への理解を促進することを目的としておこなっているもので、JA新庄市の井上代表理事専務、佐藤理事信用共済部長とJAおいしいもがみの木田常務、松澤金融共済部長は、「教材を通

じて多くの子供たちに農業の大切さ、魅力を知ってもらいたい。そして一人でも多く、農業を将来の仕事として考える子供が育てば嬉しい。」と教材を手渡ししました。

津田教育長は「子供たちの教育に活用させていただきます。」と謝辞を述べられました。



県産果汁愛飲運動

4月22日、23日の2日間、山形県産農産物の消費拡大を目的とした、「県産果汁愛飲運動」の推進活動をおこないました。

職員は、山形県産の様々な果物を搾った100%ジュースや、県産果物の果汁を使ったクラフトサイダー、人気のパインサイダーなど各種取り揃え、各支部を巡回して、県産農産物の魅力や、おいしさ等をPRしました。

「お買い上げいただいた方からは、とても美味しい。県外の孫にも送っていても喜ばれている。」や「農作業の合間に冷やして飲む。」といったお声をいただきました。

県産果汁を使ったジュースやサイダーは、ゼリーやクリームソーダ、シャーベットなどのアレンジもおすすすめです。

ご自宅用の他、贈答用なども取り扱っておりますので、ご用命の際は営農経済部(購買)まで、お問い合わせください。



JAグループ山形/山形県立農林大学校への実習用農業機械の寄贈

4月25日(金)、JAグループ山形は、地域貢献活動の一環として、山形県立農林大学校に実習用のトラクターと高所作業機を寄贈しました。

実習用農業機械の活用によって学生の皆様の学習意欲が高まるとともに、農林大学校の教育内容が充実することで、全国各地から積極的に農業を学ぶ若者が集まり、県内はもとより、東北、日本をけん引する農業経営者が育成されること、魅力ある農業が全国に発信されることを期待し企画されました。

贈呈式には同大の職員と学生、最上3JAの代表者ならびにJA共済連山形の役員ら約30人が参加し、

当JAからは沼澤正和経営管理委員会会長が出席し、神山修学長に目録などを手渡しました。



春の肥料農薬相談会開催

5月9日、10日、当JA資材倉庫を会場に、春の農薬相談会を開催しました。

相談会には当JAの購買担当者を始め、JA全農山形、㈱ケイエスや各農薬メーカーが参加し、来店されたお客様は、肥料農薬の使用法や効果など、様々な質問や相談をしながら買い求めています。販売会の他にも、ドローンのテスト飛行、ラジコンボートの展示も行いました。

また、毎年恒例となっている当JA職員が真心を込めて作った玉こんにゃくの汁の振舞い、景品が当たる抽選会など、会場は大変な賑わいを見せました。



JA新しいわて花卉生産部会/ゆきむろ倉庫視察訪問

5月15日、JA新しいわて(荏谷雅行組合長)より、八幡平花卉生産部会の齊藤正樹部会長はじめ担当者9名が、当農協のゆきむろ倉庫視察のために訪問されました。

リンゴの生産量国内トップクラスを誇るなど、花卉の生産に力を入れているJA新しいわてですが、花卉の新集荷場建設に向けた検討案の一つとして、雪室予冷庫を導入する案が出たため、今回の視察訪問が行われる運びとなりました。

ゆきむろ倉庫について説明を受けたJA新しいわての担当者は、雪解け水を循環させる保冷システムに関心を示したり、雪氷庫の広さに驚いたりしつつ、導入に

あたった課題点を話し合っていました。

視察を通じて、齊藤部会長は「花卉の集荷場としての設備と考えると、湿度管理や修繕、維持管理の方法等、検討すべき課題は多い。しかし、実際に運用している施設を見学できたことは貴重な経験となった。今後の議論に役立てたい。」と感想を述べました。



水稲直播栽培

5月上旬から下旬にかけて、水稲の直播作業が行われました。

直播栽培は従来の苗の移植栽培に対して、水田に直接種を播くため、育苗作業や田植えを行わず、省力化・省コスト化や稲作の規模拡大などのメリットがあり、担い手の減少や農業者の高齢化など、現在直面している様々な課題の解決が期待できる栽培方法です。

当JA管内では、41・2町歩の実績となっています。

今後も水稲直播栽培の普及を目指し取り組んでまいります。



花苗移植作業/農協施設を彩る

6月10日(火)、当JAの職員が、花苗の移植作業をおこない、各施設に色鮮やかに彩ったプランターを飾りました。

当JAの中鉢早苗理事が真心こめて育てた、色鮮やかなペゴニアやマリーゴールドを、部署の垣根を超え、力を合わせておこなう移植作業は、6月の大切な仕事のひとつとなっています。

今年始めて作業を体験した職員鈴木美羽さんは「暑い日差しの中、初めて花苗移植をおこなってみて、暑さにも負けずたくましく鮮やかに咲いている花はとても綺麗で感銘を受けました。各施設に飾られた色鮮やかなプランターを来所された多くの方に見て頂ければ嬉しいです。」と話してくれました。



農サポやまがたより お知らせ

※「農サポやまがた」は やまがた農業支援センターの愛称です

令和7年から農地中間管理事業の利用には『手数料』のご負担をお願いします

◎手数料について

農地中間管理事業の運営には、やまがた農業支援センターの自主財源を一部充当している経費があり、この負担が年々増加しています。このため、将来に向けて持続的、安定的にこの事業をご利用いただけるよう、利用者の皆様に一部ご負担をお願いすることといたしました。

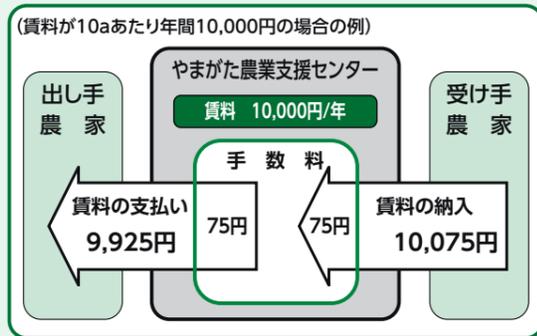
なにとぞ皆様のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

◎手数料の概要

- ◆対象は令和6年10月以降に公告になる満期再契約及び、更新・新規契約から（直ちに全契約が対象になるものではありません）
- ◆納付いただくのは令和7年11月の賃料の支払い時点から
- ◆これ以降毎年、農地の出し手・受け手のそれぞれから納付
- ◆手数料の金額は毎年の賃料に0.75%を掛けた額

◎手数料納入のイメージ

(※10aあたり賃料が年間10,000円の場合の手数料は75円)



★詳しくはやまがた農業支援センター (023-631-0697) またはセンターのホームページをご覧ください。

- 理事会・経営管理委員会報告 協議事項**
- 第1回理事會** 令和7年4月25日(金)
- 令和6年度決算について
 - 令和7年度通常総会について
 - 令和6年度産米の第1次精算について
 - 諸規程の規定読替えに関する規程の一部変更について
 - 農産物検査業務規程の一部変更について
 - 令和7年度内部監査実施計画の策定について
 - 米出荷者に対するライスセンター利用料金の支援について
 - その他
- 第2回理事會** 令和7年5月28日(水)
- 令和6年度資産査定結果について
 - 第53回通常総会について
 - 令和7年度余剰金の運用について
 - 貸付承認について
 - その他
- 第3回理事會** 令和7年6月21日(土)
- 令和6年度下期監事監査講評について
 - 令和6年度資産査定結果について
 - その他

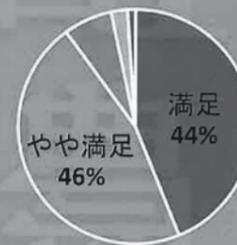
- 理事会制移行後理事会・監事會 協議事項**
- 第1回理事會** 令和7年6月21日(土)
- 代表理事組合長の選任について
 - 代表理事専務の選任について
 - その他
- 第2回理事會** 令和7年6月26日(木)
- 付帯決議の取り扱いについて
 - 理事の報酬額について
 - 役員賠償責任保険の加入について
 - 部門担当部会の持ち方について
 - 東部ライスセンターの修繕について
 - 令和7年度上期賞与の支給について
 - 印章管理規定の変更について
 - その他
- 第3回理事會** 令和7年6月21日(土)
- 代表監事の選任について
 - その他

山形県農業働き手確保対策協議会より お知らせ

山形県内の農業者の皆さんへ 時間単位で働き手の募集ができます!

登録・利用者の状況		マッチングの状況 (令和6年12月末)	
農業者	710戸	求人数	延べ 20,239人
働き手	4,287人	成立数	延べ 18,180人
		成立率	90%

アプリを活用して雇用した人に対する農業者の満足度アンケート



1日バイトアプリ デイワーク daywork

まずはご覧ください!!

ダウンロード方法

App StoreまたはGoogle Playにアクセスしdayworkで検索するか、カメラでQRコードを読み取り、表示されたアプリをダウンロードしてください。



農業者の声「急な募集に最適」「人数が必要な作業に便利」

- ・水稲、果樹、野菜などの繁忙期に!
- ・1日、1時間単位で募集できます
- ・利用料は無料!簡単な登録だけでOK
- ・県内でも、さくらんぼをはじめ多くの方に活用いただいています!

使い方のコツ: 誠実さが履歴に反映されます。誠実な対応を!

※細かい使い方はアプリをご覧ください。

dayworkは農家さんとその地域に住まれる皆様がお互いに助け合い、結果として農業の発展につながるWin-Winの関係を構築できるサービスとして改善に全力で取り組んでまいります。

事務局: 山形県農業働き手確保対策協議会
詳しくはこちら「やまがた農業ぶちワーク」



第5回 JA新庄市 夏祭り

日時 : 令和7年7月26日(土)
午後4時から8時

場所 : JA新庄市 本所 特設会場
(農協およびJAビジネス駐車場)

アトラクション



・はぐくみ保育園
お遊戯
・新庄まつり囃子演奏
(山屋囃子若連)

飲食ブース



・牛ガッキ焼
・焼きそば
・やきとり
・トロピカルジュース
・お酒(ビール、酎ハイ)
など

農産物ブース

・地元野菜の販売



・花卉販売

イベントブース

・縁日ブース
(射的/ストラックアウト
花火)
・流しがチャガチャ



皆さまのご来場をお待ちしております！

◆お問い合わせ JA新庄市夏祭り実行委員会 TEL 0233-22-3966

編集後記

暑い日が続き、体調を崩しやすくなっています。農作業の合間に涼しい場所で定期的に休憩したり、こまめに水分・塩分補給をするなど熱中症対策を行いましょう。また、エアコンや涼感グッズを使用し、快適に過ごす工夫をして暑い夏を乗り切りましょう。